

## 総務文教常任委員会

熊谷市定住人口増加のための固定資産税等の課税免除に関する条例の一部を改正する条例について

財産の取得について（災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（ーB型））

これまでの実績について伺いたい。

答 平成27年度に固定資産税の免除を承認した件数、免除額は1,866件、1,194万5,800円。都市計画税は1,055件、2,41万8,600円、免除額は合計で1,436万4,400円。平成28年度は5月31日現在、固定資産税が2,08件、1,318万7,100円、都市計画税は1,28件、3,14万3,500円、免除額は合計で1,633万6,00円。転入者数は平成27年度5,93人、平成28年度は5月31日時点で6,39人である。

問 なぜ3年間延長するのか明確な理由を伺いたい。

答 免除を始めて今年度で2年目だが、効果を見るにはまだ期間が浅いのと、定住人口の増加を目的とするこの免除制度は、総合戦略の取り組みの一つであることからその計画期間に合わせて延長するものである。

（所管課・資産税課）

現行車両の老朽化について伺いたい。

答 更新の計画では16年をめどとしているが、現在16年3カ月を経過したところである。稼働時間は5,100時間で、走行距離に換算すると20万4,000キロを走行したことになる。  
(所管課・警防課)

平成28年度熊谷市一般会計補正予算（教育費）について

問 運動部活動支援員活用事業について2校の選定理由と、起用される支援員は学校で指導していた人なのか、それとも新たに起用される人なのか伺いたい。

答 選定した荒川中学校と大里中学校は、この事業で見本となるような学校であり、支援員は部活動の顧問経験のある退職教員である。

（所管課・学校教育課）

〔主な意見〕  
賛成意見 従業員が妻かどうか、同一世帯かどうか、息子かどうかなどで同じ労働の対価が違つてくるというのは納得がいかない。世界の先進国では税法上、民法や労働法や社会保障上でも自家労賃は基本的に必要経費として当然認められている。56条を廃止することで人権問題や憲法問題でも解決していくということを望み、この請願に賛成である。

反対意見 現在、青色申告制度は国民の納稅の義務に對して適正な申告を正確な記帳で実践する制度として運用されており、正しい記帳による申告を普及する役割機能がある。全ての事業者に記帳義務が課されているところであり、記帳をするのであれば青色申告に移行することでの問題は解決すると思っている。また、国民全体の税の公平性という観点からもこの全体の税制度のある一部分だけを抜き出して廃止すると求めることは極めて乱暴な求めであると思い、この請願に反対である。

委員長 林	副委員長 石川	幸子
委員長 本岡	副委員長 松	広信一
委員長 井野	副委員長 富桜	吾み高
委員長 小鮎	副委員長 千葉	賢二
委員長 栗森	副委員長 小関	浩義

平成28年度熊谷市一般会計補正予算（衛生費・土木費）について

委員長 福田	副委員長 原	勝美
委員長 田	副委員長 林	清志
委員長 栗森	副委員長 小関	健新一
委員長 田	副委員長 山	貫弥琢也

## 環境産業常任委員会

問 環境政策業務経費について、アライグマの捕獲頭数は、平成27年度と比較してどのくらい増えたのか伺いたい。

答 27年度は合計1,29頭であったが、28年度は、8月末現在で1,65頭と27年度と比較して2倍以上のペースで捕獲している。

（所管課・環境政策課）

問 「総合戦略」佐谷田地区新駅周辺整備事業にかかる基礎調査の業務委託について、どういった趣旨のもとで行われるのか伺いたい。

答 新駅周辺の整備開発については、市街化編入を行う必要があり、現在区画整理事業の事業検証を実施している。今回の業務委託については、当該エリニア内の関係権利者の土地、建物の現況調査および意向調査等を行い、調査結果に基づく総合的な事業検証をすることを目的としている。

（所管課・東部地域開発推進室）

# 市民福祉常任委員会

委員長	中島	勉
副委員長	腰塚	菜穂子
委員	加賀崎	千秋
	新井	正夫
	大山	美智子
	永澤	宣久
	須野	淳

## 委員会での主な質疑

熊谷市印鑑条例の一部を改正する条例について

問 「総合戦略」放課後児童保育室整備事業における佐谷田児童クラブの増設についての概要を伺いたい。

答 市内の印鑑登録証明書等の発行が可能となるコンビニエンスストアの店舗数を伺いたい。また、店舗の店員は、証明書発行のための特別な研修等を受講する必要があるのか伺いたい。

答 証明書発行が可能な端末が設置してある店舗は、平成28年9月1日現在で86店舗である。また、証明書発行の際には、利用者本人が端末を操作することとなるので、店員の研修は必要ない。

### 平成28年度熊谷市一般会計補正予算

(民生費)について

問 平成28年度熊谷市一般会計補正予算についての概要を伺いたい。

答 平成28年度熊谷市一般会計補正予算についての概要を伺いたい。

(所管課・市民課)

(所管課・契約室)

(所管課・都市計画課)

問 空き家の近隣にお住まいの方は、空き家への危険を感じている方も多いと思われる。市として空き家対策をどのように進めていくのか伺いたい。

答 自治会にご協力をいただいている空き家の基本調査により、現状を把握した上で、空き家対策の計画を作成する。

# 都市建設常任委員会

委員長	黒澤三	千夫
副委員長	小島	正泰
委員	大久岡	保照夫
	三浦	兵衛一
	鈴木	和理裕

工事請負契約の締結について（H28別府排水区下水道工事）

市道路線の認定について

問 入札業者の選定基準を伺いたい。

答 時期に認定する理由を伺いたい。

問 これまで使用していた道路をこの時期に認定する理由を伺いたい。

答 隣接地権者全ての同意が無い、寄附の申し出をいただいたので、認定するものである。

問 平成28年度熊谷市一般会計補正予算についての概要を伺いたい。

平成28年度熊谷市一般会計補正予算（土木費）

問 今回使用するレジンコンクリート管と従来の管のコスト面での違いを伺いたい。

問 今回使用するレジンコンクリート管と従来の管のコスト面での違いを伺いたい。

答 材料単価は、従来のヒューム管よりも高くなるが、総合的に見て今回の改修ということで、屋根やミスト装置を設置するということだが、設計等の条件としてラグビーワールドカップに向けてということも以外にも熊谷をPRするという要素を含めているのか伺いたい。

答 ラグビーワールドカップ2019を見据え、特徴として、暑さ対策、景観、それとユニバーサルデザインに配慮する。また、市内をはじめ国内外からの利用者の利便性、安全性向上を目的に実施する。PRについては、今後調整しながら計画をつくっていく。

(所管課・下水道課)

(所管課・都市計画課)